



学校だより

地域と共に「心輝く」
坂城高等学校 教頭 前山 和志



6月には、本校の坂城学(総合的な探究の時間)において、1年生全員が園内のばらを撮影し、写真に合った俳句を詠む「フォト俳句」に取り組みました。町のばら祭り発信のためのキャンペーンに合わせて企画した学習で、生徒は公園を

「坂城町第18回ばら祭り」開祭に合わせたベルアーチ除幕式には、生徒会役員が参加させていただきました。ベルアーチは、令和3年に本校生徒が町内に観光スポーツが少ないことに着目し、さかさ千曲川バラ公園に「恋人の鐘」を設置してSNS等で発信することで、若者であふれる場所にしたいと提案したものです。



▲MCを務めた坂城中出身の1年生

コロナ禍の約4年間を経て、5類感染症への移行に伴い本校でも地域の皆様と関わる様々な取組、新たな挑戦が始まっています。その様子をお伝えします。
5月の「第1回さかさっずフェスタ」では、坂城中学校出身の1年生2名がステージ発表のMCとして進行を務め、ダンス部は高校生らしいキラのあるダンスを披露し、会場を盛り上げました。

学校と地域との連携・協働は、生徒の学びを広げ深め、個人と社会と結び付けるために不可欠と考えます。皆様に引き続きご支援、ご協力いただき、今後も坂城高校は地域に学び、地域と共に成長しながら、校訓にある「心輝く」学校でありたいと思います。

▼坂城学で「フォト俳句」に取り組む生徒



▲ベルアーチ除幕式に提案した卒業生と現生徒会役員が参加

散策しながら思い思いに俳句を詠み、SNSにも投稿し発信しました。
公園で多くの方がベルを鳴らし記念撮影している姿や、生徒が学校の外に出て想像力を働かせている姿から、高校生と町が一体となった取組の豊かな創造性と大きな可能性をあらためて実感しました。

口に食べ物を入れたまま話さない



口に入れた食べ物が飛び散ると、周りの人が嫌な気持ちになります。

好き嫌いをしない



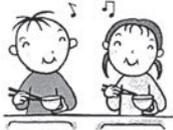
苦手なものでも、ひと口は食べてみるようにしましょう。

箸と食器を正しく持つ



正しく持つと食べやすく、食べる姿も美しくなります。

楽しい雰囲気づくりを心がけよう



みんなで楽しく食べると、食事がいっそうおいしくなります。

食事中にふさわしい会話をしよう



汚い話は避け、食事が楽しく、おいしくなるような話をしましょう。

食事中は勝手に立ち歩かない



きちんと席について座って食べましょう。

マナーとは堅苦しい決まりごとではなく、他の人のことを思いやる優しい気持ちが行いとなって現れるものです。食事のマナーも同じです。みんなが楽しい雰囲気の中で食事ができるように、一人ひとりが食事のマナーに気をつけて食べましょう。

食事のマナーを守りましょう



食育だより

食育・学校給食センター
82-2559

